

JR 長野駅善光寺口で発生した殺傷事件における対応について（報告）

1 概要

- ・ 1月22日（水）午後8時7分頃、JR 長野駅善光寺口で男女3人が刃物で刺される事件が発生した。1月26日（日）、容疑者が逮捕された。

2 市教育委員会の対応

- ・ 第一報は、1/22(水) 21時42分、その後、26日（日）正午までに校長・教頭宛にメールにて8回指示
- ・ 児童生徒の安全確保と心のケアを最優先に考えて対応

【逮捕前】

- ・ 臨時休業等を行わない
- ・ 登校に不安を感じる場合、児童生徒の登校を控えて良い。欠席扱いにしない
※「校長が出席しなくてもよいと認めた日」として扱う。
- ・ 可能な範囲で教職員が登下校の見守りをする
- ・ 可能な範囲で保護者が登下校の付き添いをする
- ・ 児童生徒の登校後、学校内外の安全確保に努める
- ・ 欠席者の学習保障の観点から、1人1台端末の持ち帰りを検討するよう依頼
- ・ 部活動（中学校）、課外活動（小学校）については、原則行わない
- ・ 休日に不安なこと等があれば、休日連絡窓口（市役所警備員室）に電話する
- ・ 不安を感じている児童生徒にはカウンセラーの利用を案内する

【逮捕後】

- ・ 引き続き、児童生徒の心のケアに努める（丁寧な観察、相談窓口の周知、必要に応じてスクールカウンセラーの派遣等）
- ・ 引き続き、不安を感じる場合は、児童生徒の心情に寄り添い、柔軟に対応する
- ・ 引き続き、学校の実情に応じた児童生徒の安全確保に努める（登下校の見守り、巡視等）

【その他】

- ・ 警察に対し、通学路、学校周辺のパトロール強化を要請
- ・ 学校の状況を把握するため、「登校不安による欠席者数」や「学校の対応」等について調査を実施 → 問い合わせのあった報道機関へ情報提供

3 市立小・中学校の対応

- ・市教育委員会の指示を受け、学校毎に対応を検討
→各学校から保護者宛に、学校毎の対応を連絡、協力依頼

【共通】

- ・児童生徒の心情に寄り添った心のケアに努める
(丁寧な観察、相談窓口の周知、必要に応じてスクールカウンセラーの派遣 等)
- ・不安を感じる場合は、「校長の判断」で柔軟に対応する

【逮捕前】

○小学校 (例)

- ・屋外での活動を取りやめ、方面別の一斉集団下校、下校時の教職員による巡視
保護者への引き渡し、学校周辺の巡視、校舎出入口の施錠 等

○中学校 (例)

- ・複数人で明るいうちに下校、下校時の教職員による巡視、学校周辺の巡視
校舎出入口の施錠 等

【逮捕後】

※原則、通常通りの対応とするが、学校の実情に応じて、児童生徒の安全確保に努める

○小学校 (例)

- ・登下校時の教職員や保護者の見守り、方面別の集団下校、通常的安全指導を継続 等

○中学校 (例)

- ・保護者の送迎を希望する生徒に対して待合用の教室を用意、通常的安全指導を継続 等

4 登校不安による欠席者数

○小学校

1月23日(木)	約1,800人(約12%)
1月24日(金)	約1,100人(約7%)
1月27日(月)	約30人(約0.2%)

○中学校

1月23日(木)	約1,000人(約12%)
1月24日(金)	約900人(約11%)
1月27日(月)	約10人(約0.1%)

【参考】

児童生徒数 (R6.5.1現在)

- ・市立53小学校 16,726人
- ・市立23中学校 8,609人

合計 25,335人

5 関係機関との連携

- ・庁内関係部局(子ども政策課、保育幼稚園課、秘書課、危機管理防災課、地域活動支援課)、
警察、県教育委員会と情報共有
- ・スクールカウンセラーの派遣を調整(県教育委員会、あのえっと)